

学習計画	教科名	数 学	学年	2年
------	-----	-----	----	----

1. 年間の学習計画

	月	学 習 内 容	学習のねらい
前 期	4	1章 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いた式を活用することのよさを実感し、それを用いて数量や数量の間の関係を的確に表現し、説明しようとする能力や態度を養う。 ・連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができるようにする。 ・変化や対応についての見方や考え方をいっそう深めるとともに、事象の中から一次関数を見だし、それを用いることができるようにする。
	5	2章 連立方程式	
	6		
	7	3章 一次関数	
	9		
後 期	10	4章 図形の調べ方	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質を調べる上で基礎となる見方・考え方や基本的性質を、観察などの活動を通して明らかにし、論証の意義と推論の進め方について理解する。 ・平行線についての性質や三角形の合同条件を根拠にして、三角形や平行四辺形の性質を調べ、それらを活用することができるようにする。 ・不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して、確率について理解し、それを用いて考察し表現することができるようにする。 ・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断し、問題を解決できるようにする。
	11	5章 図形の性質と証明	
	12	6章 場合の数と確率	
	1		
	2	7章 箱ひげ図とデータの活用	
	3		

2. 評価の観点と主な評価方法

評 価 の 観 点	主 な 評 価 物
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・授業内における知識・技能など
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト ・授業内における思考・判断・表現など
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加態度（発表、粘り強さなど） ・自己評価シートなど

3. 家庭学習の方法

- ・授業のあった日に復習する習慣をつけ、宿題を忘れずにやってください。
- ・家庭学習ノートを活用し、教科書の問題やワークの問題をくり返し解くことがとても効果的です。

※年間予定は変更の可能性がありますのでご了承ください。